

《高崎高校アメリカ研修3回目（2026年7月15日）報告書》

本日は一日中曇りで、少々蒸し暑い日でした。カナダでおきた山火事の影響もあり、どんよりとしていました。

午前中の授業では、日本人だけのクラスにもトルコからの留学生も本日から加わりました。聞くこと・しゃべることについては他国の生徒に負けていると感じる生徒も多いのですが、そこは持ち前のガッツで頑張っている様です。

昼食後、ハーバード大学へ地下鉄で行きました。地下鉄のチャーリーチケットを落としてしまった生徒がおり、事前研修で説明した通りに券売機で1週間フリーパスを自ら購入していました。何事も経験です。ハーバード大学でキャンパスを案内してくださったのは、今年9月から2年生となる学部生の依田さんです。依田さんは8歳の時に父親の仕事の関係でアメリカへ移住、小学校・中学校・高校をアメリカで卒業した後、ハーバード大学へ進学されました。バレエを幼いころからやっていたのですが、中学校の生物学の先生の授業で生物学は人を助けられることを知り、勉強に没頭したそうです。現在は医師になることを目指してハーバード大学卒業後、ハーバードメディカルスクールで勉強して医師になるため努力しているとのことでした。ハーバード大学の年間の学費\$90,000は柳井財団のフルスカラシップの支援を受けているとのこと。ジョン・ハーバード像の前からスタート、サイエンスセンター、約350万冊以上の蔵書を（地下10階）誇るワイドナー図書館、学生生活の中心となるスチューデントセンター、そして学生寮などを巡りながら、実際の大学生活についても詳しく説明していただきました。たくさんの生徒からの質問にも答えていただきあっという間の1時間30分でした。特に“パッションに勝るものはない”自分の体を大切に自分の好きなことを大切にしてほしいというメッセージが印象的でした。

その後グリーンラインのリーチメア駅で下車、世界で活躍している社会人“陸さん”と近隣の公園で座談会をしていただきました。高校時代に新潟高校で米国研修に参加してくれた方で、その研修で世界を目の当たりにした彼は大学受験も海外大学に挑戦した経験を持っていたり、東京大学在学時にインターンとして世界銀行で働いていた話などしていただきました。なぜ最終的にコンサルティング会社に就職したかなどとても興味深い話でした。現在の年収は？といった質問や、日本人の英語のスピーキング・リスニング力の弱さなどの質問に対して的確に彼の意見も含め説明してもらいました。彼からも2つのアドバイスをいただきました。1つ目は依田さんと同じ“好きなことを見つける”、2つ目は物事を比較して考える習慣をつける（例えばアメリカと日本）ことでした。やっていて楽しいことを見つけるためにも、今回の研修もそうだが、たくさんのことに自らチャレンジすることでした。

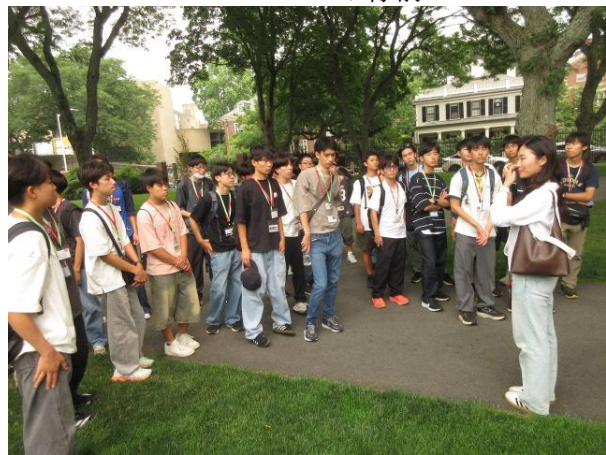
夜のアクティビティ（スカベンジャーハント）後、ミーティングで2人の生徒が遅刻しました。電車での居眠りなど、緊張の糸が切れてきたので再度気を引き締まるよう注意しました。



ジョン ハーバード像前で



依田さんのキャンパスツアー①



依田さんのキャンパスツアー②



依田さんのキャンパスツアー③



陸さんとの座談会①



陸さんとの座談会②



陸さんとの座談会③



陸さんとの座談会④



陸さんとの座談会⑤



カフェテリアでの夕食①



カフェテリアでの夕食②



夜のアクティビティ(スカベンジャーハント)